

# 盈進中学校 ひとづくり 3教科

言語力、倫理観、独創性で  
未来を描く

読書科

にんげん科

創作科

# 盈進オリジナル 「ひとづくり3教科」 —読書・にんげん・創作—

盈進中学高等学校 校長 菅龍人

## 1. はじめに

教育界が激変しています。これまでの「知識」中心の暗記や記憶を中心にした能力を測る教育から、「理解している事をどのように使うか」（思考力・判断力・表現力）を重視したものとなります。「主体性を含む多面的総合評価」つまり、(学業成績、外部試験スコア、クラブ活動実績、ボランティア参加歴、留学歴等)も重要な判断材料となります。

私学盈進学園の建学の精神は「実学の体得」つまり、「どんな時代になっても社会で活躍する、社会に貢献できる人物を育成する」です。盈進学園は、この「建学の精神」に基づいて日々の教育活動を行っています。盈進中学校独自のカリキュラムである「読書」「にんげん」「創作」は他校には絶対に真似のできない、自分を表現する、自己を見つめる、社会を知り、世界を知り、平和を築き、人間とは何かを考えることを求める「ひとづくり」の3教科です。

## 2. 遅い、生きる力を育む盈進オリジナル「ひとづくり3教科」

中学校再開以来、盈進中学校の伝統として授業展開している「読書」「にんげん」「創作」の3教科はまさに、今、求められている能力と合致します。創立114年目を迎える盈進学園の「『ひと』を大切に作る」教育は脈々と受け継がれています。建学の精神は、「実学の体得」。実学とは、社会に貢献できるひととなるために身につけるべき力であり、この3教科はまさに、「どのように生きるか」を自ら模索し、将来は誰かのために自分の力を活かせる人間になるための学びです。

### ● 読書科

国語科から独立した「読書科」では授業を通して3年間で約30冊の本と出会います。クラス全員で一人一冊、共通の本を読む「集団読書」を通じて、中学生の時期に新鮮な感動を体験し、豊かな表現を身につけ、ことばの深い意味を読み取り、自分の思いを伝える能力と感性を育てます。この読書科の3年間の集大成が「修了論文」の作成です。

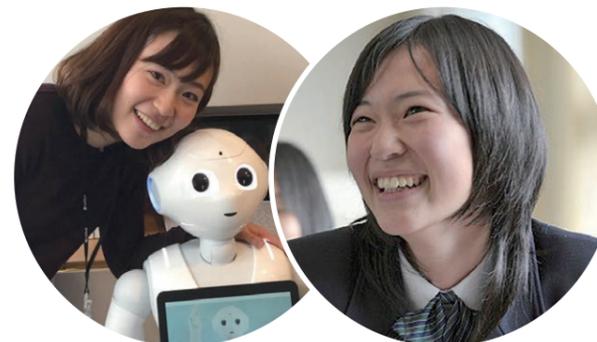
### ● にんげん科

「人間はどういう生き物なのか」「人間としてどう生きなくてはならないのか」など、人間に関する様々な切り口で授業を展開しています。人権・平和・環境問題を教材の中心として「人間の生きる意味と価値」を学び合う授業です。1年生では、百周年記念誌で「盈進の歴史と伝統」も学びます。

### ● 創作科

全国の中学校で授業数が減る傾向にある美術、技術家庭科の指導内容を精選し独自の教材を盛り込み、カリキュラムを再編成し総合造形美術に取り組みます。絵画・デザイン・彫刻・陶芸・農園の栽培活動まで「ものづくりは、ひとづくり」としてバランスの取れた自分を表現する活動を目指します。

# わたしとひとづくり3教科 ～先輩の声～



## 藤岡 奈央 さん

2009年3月卒 / 英検2級(高2次)  
2013年3月 早稲田大学 社会科学部卒業

早稲田大学時代  
国際ボランティア WAVOC で活躍  
(リトアニア杉原千蔵記念館での翻訳等)  
盈進中学高等学校時代  
高2次：オルガンコンクール最優秀賞  
(全国1位 / ロサンゼルス国際大会で演奏)  
「第1回 中高生平和サミット in 広島」実行委員  
2013年4月(株) ソフトバンク入社

## 読書科

「読書科」の授業では、友だちの文章にハッとさせられることが何度もありました。同じ本、同じ文章を読んでも、「そうか、そんな読み方があるのか」「なるほど、そんなとらえ方があるのか」と刺激をもらっていました。そうして、大人になった私の考え方や視点が少しずつ広がり、研ぎ澄まされていったのではないかと感じています。

「読書科」の授業をとおして本が大好きになりました。今でも仕事で、お客様への謝罪など、気が重たくなる時は決まって、心を落ち着かせるために本を読む自分がいるのです。

悩みが尽きない中学生という時期だからこそ、読書は心を穏やかに保つための大切な時間だと、私は信じています。

わたしにとっての「読書科」は、「ことばの収集・知恵の蓄積・心の平穏・思考の拡がり」でした。

## にんげん科

マイノリティー(少数者)の小さな声に耳を傾けることができる誠実な人になりたいと思いました。それは、クラスにおける日常的な衝突を解決する判断力にも生かされました。そうした力は今、わたしのからだの一部になり、仕事にも生かされています。感受性豊かな中学時代の五感を使った学びには、いつも「自分はどう生きるか」という問いが横たわっていたと思います。

わたしにとっての「にんげん科」は、「誠実さを胸に刻む」学びでした。

## 創作科

父はいまでも、中学時代にわたしが作った作品を家に飾ってくれています。それを見るとき、中学時代にわたしが見ていたこと、感じていたことが思い起こされます。深緑の通学路の森、盈進坂のセミの声…学生時代の春夏秋冬のすべてが愛おしく思えるから不思議です。

わたしにとっての「創作科」は、「楽しく表現する心」を磨いてくれる時間でした。

# 読書科

～本と出会い、ひとを知る～

読書科の授業には各学年に「学びのテーマ」が設けられています。「自己」→「社会」→「世界」と視野を広げていき、中学修了時には再び「自己」へと回帰するサイクルの読書活動を通して、「未来を見つめる 15歳」の育成を目指します。

## 1年生のテーマ 自己を知る personal

1年生のテーマは「自己を知る」。家族や友人とのつながりを通して心の成長を遂げる主人公の姿に、自分自身を重ね合わせて読みます。さまざまな愛情のかたち、友情のかたちに触れ「かけがえない自分」に出会うとともに、自分を取り囲む人の存在にも気づくようになります。心を育みながら本が大好きになる1年間です。

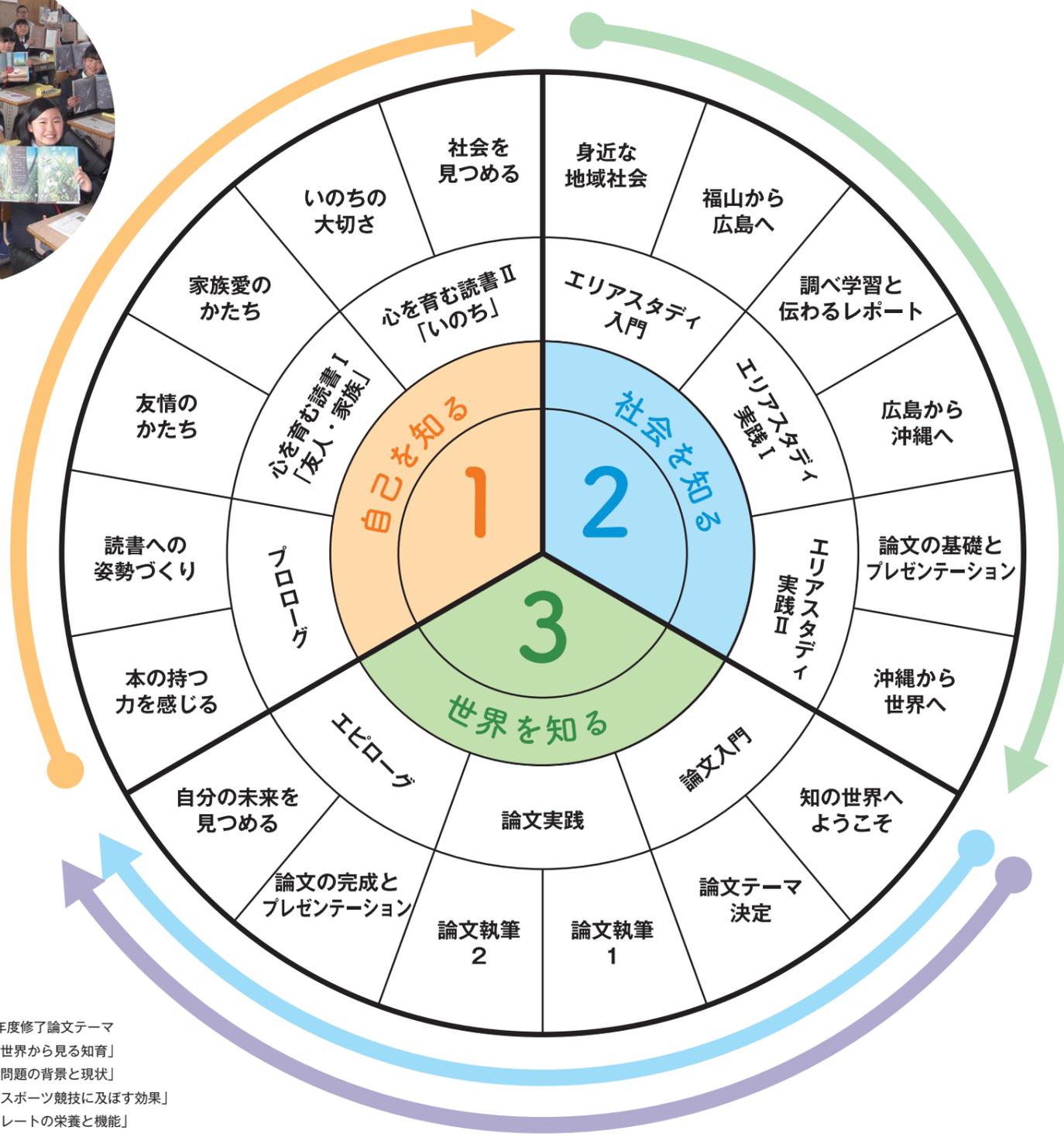


## 修了論文 ～書くことは考えること～

興味・関心に基づいたテーマを自ら設定し、4000字以上の本格的な論文に挑戦。専門的な本を読み、自ら調べ、担当の先生の指導を受けながら半年以上かけて論文を書き上げます。主体的な学びを通して思考力を鍛えることで「21世紀型能力」の礎を築くとともに、自分のやりたいこと、なりたい姿を思い描くことができます。

- 2017年度修了論文テーマ
- 「レゴの世界から見る知育」
  - 「外来種問題の背景と現状」
  - 「色彩がスポーツ競技に及ぼす効果」
  - 「チョコレートの栄養と機能」
  - 「小学校での英語教育早期化について」
  - 「女性疾患と日本のこれから」など

※詳しくは修了論文作品集をご覧ください



読書科3年間の学びのテーマとカリキュラム

## 2年生のテーマ 社会を知る local

2年生は「自己」から「社会」へと視点を移し、読書活動の領域を広げます。私たちの故郷「福山」そして「広島」について知り、「平和」というキーワードをさらに学習旅行で訪れる「沖縄」そして「世界」に結び付けます。「地域研究」×「平和学習」が生み出すドラマチックな読書活動を展開する学年です。



## 3年生のテーマ 世界を知る national global

「自己」から「社会」へと視野を広げた2年間の学びを経て、3年生ではもっと広い「知の世界」での学びを体験します。自分の興味・関心のある分野からテーマを設定し、4000字以上の文章をまとめる修了論文は中学校3年間の読書活動の集大成となります。

# 読書科 ～本と出会い、ひとを知る～

1  
年生



2  
年生

2年生では沖縄についての調べ学習をおこなうため、この他にも沖縄に関する本を多数使用します。



3  
年生

3年生では各自の選んだテーマに基づいて「修了論文」に取り組むため、使用する本も1人ひとり異なります。学校図書館、公共図書館の所蔵する本を自分で見つけることから始めます。



## EISHIN LIBRARY

読書の授業はクラス全員で1人1冊、共通の本を読む「集団読書」のスタイル。週1回の授業で上にあるような選定図書年間10冊以上、3年間で30冊以上読むことを目標にしています。3年間の読書活動において前半は、仲間と本を読む一体感を味わいつつ、お互いの意見を交流することで心を豊かに育みます。また後半は、私たちが生きる社会について知り、この世界で今起きていることを見つめ、各自が考える課題を解決します。「読み、書き、伝える」活動の中から、自分の生き方を見つめる教科です。

カルビー(株)の会長兼CEOの松本晃さんがポテトチップスをたくさん持って来校して下さいました!

世界のTOYOTA トヨタ自動車のプリウス開発者 豊島浩二さんが来校!

広島のお好み焼きの歴史を学び、レポート作成。学びのまとめは広島お好み広場にて

自分の書いた修了論文を、パフォーマンスを交えてプレゼンテーション

私たちの街「福山」再発見。「盈進坂の桜」が「福の山百選」リストにありました!

広島を舞台にした作品「赤ヘル1975」を読んで、全国の図書館に「読書郵便」という形でPR活動を展開。全国からたくさんのお返事を頂き感動!

読書科プレゼント「ハブテトルハブテランをめぐる旅」～松永・尾道FW～物語の舞台を実際に歩きました

最初の授業で「読書科特製しおり」を作ります

本の作者に手紙を書いたり、実際にお会いしたり...読書を通じて、さまざまな出会いも生まれます。

## EISHIN DREAM PROJECT

盈進の建学の精神は「実学の体得」。社会に貢献できる人が持つ本当の逞げん力を身に付けるために「読書科」が創設され、四半世紀を経ました。そこで、こうした教育理念を大切にしつつ、「読書科」が主体となって「未来を見つめる15歳」を育成するため、「ドリームプロジェクト」を立ち上げました。

「ドリームプロジェクト」では、生徒たちの読書活動をさらに充実させるため、読書科行事や講演会を企画、また読書環境の整備をおこないます。生徒たちの夢の実現を後押しする、盈進の「読書科」。ワクワク・ドキドキがいっぱい詰まった学びを一緒に体験しませんか?

# にんげん科

～どう生きるか～



人間はどういう生き物か。人間はどう生きなくてはならないのか。「学ぶとは誠実さを胸に刻むこと」(ルイ・アラゴン)。学ぶことで生きるすばらしさを感じ、自分をみつめ、他者を理解し、「人間の生きる意味や価値」を探究します。仲間と共に、互いの存在を認め合い、自己肯定感を高めます。



## 1年生 のテーマ

違いを知り、  
つながりを求める

### 自己をみつめる

- ・ 盈進生としての誇り  
創立 113 年の伝統から (校長先生の授業)
- ・ 名前の由来から  
家族の愛を確認する
- ・ 自由と責任  
日本国憲法入門

### 他者を理解し、他者に学ぶ

- ・ いじめ問題  
現実の事件から「仲間と共に」の心を磨く
- ・ 自然災害といのち  
阪神淡路大震災の被災者からの学び
- ・ 障がい者問題  
「障害者差別解消法」入門



## 2年生 のテーマ

歴史を学び  
平和を築く

### 自己をみつめる

- ・ 盈進生としての規律とルール  
「盈進 e-スマイル宣言」  
～いま自分にできること～
- ・ ことばの力  
「かなしいことば」「うれしいことば」
- ・ 「笑い」  
「どっ」と笑い「あっ」と笑い

### 他者を理解し、他者に学ぶ

- ・ いじめゼロの環境づくり  
「盈進 e-スマイル宣言」  
～いまあなたとできること
- ・ ホロコーストから学ぶ  
「ホロコースト記念館」を訪れ、ホロコーストの歴史を知り、原因と真実を深める。
- ・ ヒロシマとオキナワから学ぶ平和  
3学期に「沖縄学習旅行」を実施します。教育協定校の沖縄尚学高校附属中学校の仲間と交流します。そのなかで、「被爆地ヒロシマ」の平和の心を届け、現地で「激戦地オキナワ」の「命どう宝」(いのちこそ宝)の魂を学びます



## 3年生 のテーマ

にんげんをみつめ  
美しさを学ぶ

### 自己をみつめる

- ・ にんげんの定義  
心理学的アプローチ
- ・ 未来への伝言「10年後の私へ」  
人生の設計図を描く
- ・ 「働く」意味と価値  
確かな進路目標を描く

### 他者を理解し、他者に学ぶ

- ・ 歳時記と年中行事  
祝祭日の意味から先人の知恵に学ぶ
- ・ 「輝く先輩」に学ぶ  
盈進の OG・OB から直接学ぶ
- ・ 異文化(多文化)理解と共生  
さまざまな国の歴史文化とわたしたち

誠実さを胸に刻む  
～正しく知って  
正しく行動する～

私は、にんげん科の授業が楽しみでした。高校の先輩による“授業”や友だちとの討論、広島や沖縄の現地での学習は貴重な学びでした。そして、人間にとって「誠実さ」が最も大切なことだと思いました。

ひとを大切にすること、ひとを差別したりバカにしたりしないこと、そして、戦争の愚かさや平和への行動がとても大切で、そのためにも「正しく知って、正しく行動する」と、胸に刻みました。

にんげん科の授業をとおして「やっぱり人間ってすばらしい」「どんないのちも平等」「人間は無限の可能性を持っている」「私は私らしく生きればいんだ」と、感じました。

最大の学びは、私が「いま生きている」ことが「とても幸せなこと」と、感じたことでした。

(2017年度6年(高校3年)生 女子)

#### ■授業形態のマーク

- 体験型授業
- 講話・対話
- ワークショップ・討論 (ディスカッション)
- フィールドワーク



#### 特別講座

- 1年生**
  - ・ ハンセン病問題から学ぶ / 高校生の先輩による体験型の“授業”
  - ・ 介護体験講座 / 広島県介護福祉士会との連携
- 2年生**
  - ・ 平和講座 / 被爆者や沖縄戦体験者からの聞き取り学習
  - ・ ふるさと講座 / 地域の取り組みや地域で活躍する人々から直接学ぶ
- 3年生**
  - ・ プロフェッショナルに出会う / 「ホンモノ」に出会い、確かな進路観を育む
  - ・ プロフェッショナルをめざす / 「ホンモノ」をめざし、確かな進路観をもつ

# 創作科

～つくることを通して  
自らを表現する～

美術、技術家庭科の内容を精選し、独自教材を盛り込んだ盈進流『ものづくり』教科です。感性を磨き、表現力を高め、自己実現の喜びを味わい、独創性を身につけます。

## 1年生 のテーマ

### 楽しくつくり、 基本を学ぶ

美術科、技術家庭科の共通点を引き出し表現意欲と表現力を高めます。平面や立体表現の基礎知識や技能を幅広く学びます。自分を取り巻く生活の中から衣食について考え、体験実習を行います。つくることは「楽しい!」と感じるスタートの1年間です。

## 2年生 のテーマ

### 人間は何を描き、 つくり出してきたか

原始から現代まで西洋の美術史を学びながら体験制作をしていきます。また、沖縄の歴史や文化を学び学習旅行に結びつけます。情報機器(PC)を活用して資料収集、プレゼンテーション能力を高めます。人間のつくり出してきたものは「偉大だ!」と感じる発展の1年間です。

## 3年生 のテーマ

### 自分は何を描き、 つくり出すのか

これまでに創作科で学んだ知識や技能のすべてを使って作品をつくります。制作を通して自分を振り返り、自分とは何かを考え、将来“どう生きるか”を探っていきます。自らを表現する集大成の1年間です。

## 創作科 作品展

1・2学年の授業で学んだ知識や表現力(技法)を基に、3学年では「創作科作品展」～自己をみつめて～をテーマに自画像制作に取り組みます。15歳という多感な時期、大人への扉を押し開けます。人として第2のスタートを切る時に自分の顔を見つめることは、自らの人生を切り開く決意表明となります。生徒たちは鏡を見つめデッサンを繰り返し、構想を練って世界にひとつだけの自分を表現していきます。



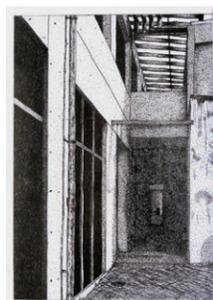
水彩表現  
「私の宝物」



夏野菜の栽培  
「盈進農園スケッチ」



パワーポイント演習  
「沖縄を調べよう」



西洋美術史～ルネサンス～  
「透視図法による中学校校舎」



銅版画制作  
「空想の世界を旅する」



西洋美術史のまとめ  
「大原美術館鑑賞学習会」



日本の文化を学ぶ  
「心で織る」



「心の中の悪魔と天使」



「ホルスタイン」



「外国へのおこがれ」



盈進農園で採れた野菜をスケッチ



ピースフルアートリンク ヒロシマ～オキナワ  
「アルミのバラをつくる」